

これからの豊川用水

～ 未来に向けて ～

○これまでのまとめ

これまで 5 回にわたり豊川用水について紹介してきました。水不足で苦労していた東三河地域に、豊川の水を引くという近藤寿市郎の大構想によりはじまり、昭和 43 年に全面通水開始。これ以降、この地域を全国有数の農業地帯に押し上げ、工業の発展を支え、人々の生活を潤してきました。

全面通水開始以降、絶え間なく水を送り続けていますが、現在、施設の老朽化や大規模地震に対応するため「豊川用水二期事業」を実施しており、これにより抜本的な改修をすることで、今後も安定した通水が続けられようとしています。



※豊川用水は、ダム、頭首工等の水源施設、幹線水路 112 km、支線～末端水路 3,000 km 以上、地区内の調整池により安定した通水を行っています。



三ツ口池分流工（東部幹線水路）

○未来に向けて

将来にわたり、東三河地域の発展・維持を支えるために、豊川用水は安定した通水を続ける必要があります。それには施設の機能を常に維持し、適正な更新を行うことが重要で、半永久的に取り組んでいく必要があります。

今年 6 月に「通水 50 周年」を迎えるのを記念して、式典など様々なイベントを行います。豊川用水から受けた恩恵や水源地に感謝するとともに、豊川用水の重要性について地域の皆さんの理解を深め、これから 50 年、100 年先も水を送り続けられるよう未来へつなげていきます。

【豊川用水通水 50 周年記念事業 イベントスケジュール】

平成 30 年

6 月 3 日 通水の日記念行事（場所：豊橋駅南口駅前広場）

※JR 東海さわやかウォーキングと同時開催

9 月 29 日 記念式典（場所：ライフポートとよはし）

その他に、フォトコンテスト（開催中 応募期間 7 月 31 日必着）、豊川用水水源地域感謝祭、スポーツ少年団交流会、あいち農業用水展、書道コンテスト などを行います。



豊川用水通水 50 周年
記念ロゴマーク

○広報活動

豊川用水への理解促進を図るため、施設見学会、水源地域と受益地域との交流事業など様々な広報活動を積極的に行っています。



←大島ダム
ウォーク



水源地域と受益地域
の小学生を招いた
施設見学会 →

○小水力発電

豊川用水では、通水を行うための多様な施設(ダム、水路等)を有効活用して、小水力発電施設の整備を行い、地球温暖化対策への貢献を図っています。

発電した電力は、施設の操作電源や照明などに使用したり売電して、管理費の軽減を図っています。また、災害時の緊急用電源としても使用できます。

小水力発電施設 設置箇所一覧

施設名	計画出力	供用開始
二川調整堰	7.1kw	平成27年5月
大島ダム	240kw	平成27年9月
駒場池	64kw	平成30年3月
宇連ダム	760kw	平成30年3月



発電機 (大島ダム)

○さいごに

全 6 回にわたり豊川用水の紹介をしてきました。さいごまでご覧いただきまして誠にありがとうございます。前掲のとおり、今年は通水 50 周年を記念して、各種イベントが開催されます。皆様におかれてましてはご都合がつけば、是非、足を運んでいただきたいと思います。どうかよろしくお願ひします。



蒲郡調整池 (中心遮水ゾーン型ロックフィルダム)



芦ヶ池調整池と農業公園「サンテパークたはら」